

写真1・2 石膏ボード下地での施工

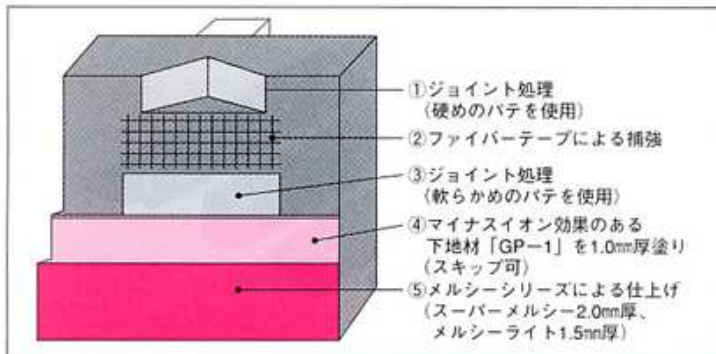
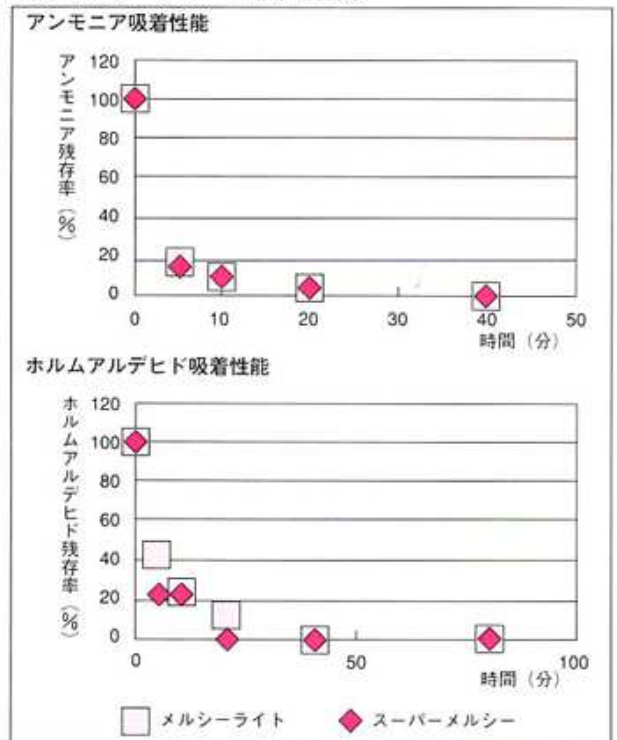


図2 メルシーシリーズの吸着性能



しかし珪藻土の割合が多い塗った後にもろくならないのか。実は、メルシーシリーズ「自然素材がもろいのは、自然というイメージを払拭した。壁に触ったとき、ポロと落ちれば、日常生活でいやりまずし、粉が舞うとアレルギーの原因にもなります」という、メルシーシリーズでは、バインダーにコーンスターチなどのりとともに、石灰を使用する。石灰には、塗ってから空反応し、だんだんと固まって特徴がある。あとは、骨材とランスに注意しながら割合をし、表面強度の高い製品とし、バインダーに合成樹脂を使う度を出す製品もあるが、樹脂を使うと珪藻土の小さい孔をいでしまう。それに、合成樹脂使っている、水には案外固いことを、同氏はサンプルを出して実験してくれた。水で指でこすると、樹脂混入品を塗ったサンプルはすぐにざらと溶けてくる。一方、メルシーシリーズは硬い感触のまま、続いて、メルシーシリーズの厚さに塗った合板のサルをバーナーであぶり出す。

高い表面強度を実現

しかし珪藻土の割合が多い塗った後にもろくならないのか。実は、メルシーシリーズ「自然素材がもろいのは、自然というイメージを払拭した。壁に触ったとき、ポロと落ちれば、日常生活でいやりまずし、粉が舞うとアレルギーの原因にもなります」という、メルシーシリーズでは、バインダーにコーンスターチなどのりとともに、石灰を使用する。石灰には、塗ってから空反応し、だんだんと固まって特徴がある。あとは、骨材とランスに注意しながら割合をし、表面強度の高い製品とし、バインダーに合成樹脂を使う度を出す製品もあるが、樹脂を使うと珪藻土の小さい孔をいでしまう。それに、合成樹脂使っている、水には案外固いことを、同氏はサンプルを出して実験してくれた。水で指でこすると、樹脂混入品を塗ったサンプルはすぐにざらと溶けてくる。一方、メルシーシリーズは硬い感触のまま、続いて、メルシーシリーズの厚さに塗った合板のサルをバーナーであぶり出す。

「自然素材がもろいのは、自然というイメージを払拭した。壁に触ったとき、ポロと落ちれば、日常生活でいやりまずし、粉が舞うとアレルギーの原因にもなります」という、メルシーシリーズでは、バインダーにコーンスターチなどのりとともに、石灰を使用する。石灰には、塗ってから空反応し、だんだんと固まって特徴がある。あとは、骨材とランスに注意しながら割合をし、表面強度の高い製品とし、バインダーに合成樹脂を使う度を出す製品もあるが、樹脂を使うと珪藻土の小さい孔をいでしまう。それに、合成樹脂使っている、水には案外固いことを、同氏はサンプルを出して実験してくれた。水で指でこすると、樹脂混入品を塗ったサンプルはすぐにざらと溶けてくる。一方、メルシーシリーズは硬い感触のまま、続いて、メルシーシリーズの厚さに塗った合板のサルをバーナーであぶり出す。

「カイチ!」ポイント

- 高強度の珪藻土を多く配合
- 石灰の配合で高い表面強度を実現
- 接着剤の液状でプラスアルファの働き

「自然素材がもろいのは、自然というイメージを払拭した。壁に触ったとき、ポロと落ちれば、日常生活でいやりまずし、粉が舞うとアレルギーの原因にもなります」という、メルシーシリーズでは、バインダーにコーンスターチなどのりとともに、石灰を使用する。石灰には、塗ってから空反応し、だんだんと固まって特徴がある。あとは、骨材とランスに注意しながら割合をし、表面強度の高い製品とし、バインダーに合成樹脂を使う度を出す製品もあるが、樹脂を使うと珪藻土の小さい孔をいでしまう。それに、合成樹脂使っている、水には案外固いことを、同氏はサンプルを出して実験してくれた。水で指でこすると、樹脂混入品を塗ったサンプルはすぐにざらと溶けてくる。一方、メルシーシリーズは硬い感触のまま、続いて、メルシーシリーズの厚さに塗った合板のサルをバーナーであぶり出す。